

# 運用報告書（全体版）

追加型投信／海外／債券

## 新興国高金利通貨オープン（毎月決算型） 愛称：ファイブ

作成対象期間：2014年6月24日～2014年12月22日

第56期（決算日 2014年7月22日） 第59期（決算日 2014年10月22日）  
第57期（決算日 2014年8月22日） 第60期（決算日 2014年11月25日）  
第58期（決算日 2014年9月22日） 第61期（決算日 2014年12月22日）

### <受益者のみなさまへ>

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、このたび「新興国高金利通貨オープン（毎月決算型）」は、2014年12月22日に第61期の決算を行いましたので、第56期から第61期の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2019年11月22日まで（2009年11月24日設定）	
運用方針	ファミリーファンド方式により、新興国のソブリン債券および準ソブリン債券を中心に投資を行い、安定したインカムゲインの確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド	新興国高金利通貨オープン マザーファンド受益証券
	マザーファンド	新興国のソブリン債券および準ソブリン債券
運用方法	・原則として、投資対象国通貨の中から相対的に金利の高い通貨を選定し、現地通貨建の債券に均等に投資します。 ・運用指図権限をウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーに委託します。	
主な投資制限	当ファンド	・マザーファンドへの投資割合は、制限を設けません。 ・外貨建資産への実質投資割合は、制限を設けません。 ・ソブリン債券以外への実質投資は、取得時において、当ファンドの純資産総額の35%以内とします。 ・同一企業が発行する債券への実質投資は、取得時において、当ファンドの純資産総額の10%以内とします。
	マザーファンド	・外貨建資産への投資割合は、制限を設けません。 ・ソブリン債券以外への投資は、取得時において、信託財産の純資産総額の35%以内とします。 ・同一企業が発行する債券への投資は、取得時において、信託財産の純資産総額の10%以内とします。
分配方針	毎月22日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して、分配金額を決定します。（ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないこともあります。）	

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。ファミリーファンド方式とは、受益者から投資された資金をまとめた投資信託をペーパーファンドとし、その資金の全部または一部をマザーファンドに投資して、マザーファンドにおいて実質的な運用を行う仕組みです。

本報告書に関するお問い合わせ先は、以下の通りです。

コールセンター

フリーダイヤル **0120-759311**

受付時間は営業日の午前9時～午後5時

**国際投信投資顧問**

〒100-0005 東京都千代田区丸の内三丁目1番1号  
ホームページ <http://www.kokusai-am.co.jp>

・本報告書において、作成対象期間を当作成期という場合があります。

## 最近5作成期の運用実績

	決 算 期	基 準 価 額 (分配落)	準 価 額			債券組入率 比	債券先物率 比	純 資 産 総 額
			税 分	込 金	期 騰 落 中 率			
		円	円		%	%	%	百万円
第7作成期	32期 (2012年7月23日)	7,087	50	△1.3	96.7	—	72	
	33期 (2012年8月22日)	7,324	50	4.0	96.0	—	72	
	34期 (2012年9月24日)	7,245	50	△0.4	95.4	—	62	
	35期 (2012年10月22日)	7,310	35	1.4	94.8	—	64	
	36期 (2012年11月22日)	7,436	35	2.2	95.0	—	59	
	37期 (2012年12月25日)	7,744	35	4.6	95.0	—	61	
第8作成期	38期 (2013年1月22日)	8,228	35	6.7	95.8	—	66	
	39期 (2013年2月22日)	8,570	35	4.6	96.3	—	64	
	40期 (2013年3月22日)	8,457	35	△0.9	95.5	—	63	
	41期 (2013年4月22日)	8,996	35	6.8	95.8	—	67	
	42期 (2013年5月22日)	9,155	35	2.2	95.4	—	43	
	43期 (2013年6月24日)	8,267	35	△9.3	96.0	—	36	
第9作成期	44期 (2013年7月22日)	8,536	35	3.7	96.1	—	39	
	45期 (2013年8月22日)	8,033	35	△5.5	95.5	—	35	
	46期 (2013年9月24日)	8,483	35	6.0	95.6	—	38	
	47期 (2013年10月22日)	8,439	35	△0.1	95.8	—	38	
	48期 (2013年11月22日)	8,477	35	0.9	96.4	—	34	
	49期 (2013年12月24日)	8,615	35	2.0	95.0	—	28	
第10作成期	50期 (2014年1月22日)	8,361	35	△2.5	94.3	—	25	
	51期 (2014年2月24日)	8,134	35	△2.3	94.0	—	20	
	52期 (2014年3月24日)	8,034	35	△0.8	93.6	—	20	
	53期 (2014年4月22日)	8,360	35	4.5	96.7	—	21	
	54期 (2014年5月22日)	8,428	35	1.2	96.0	—	22	
	55期 (2014年6月23日)	8,402	35	0.1	95.6	—	20	
第11作成期	56期 (2014年7月22日)	8,372	35	0.1	95.1	—	20	
	57期 (2014年8月22日)	8,454	35	1.4	96.0	—	20	
	58期 (2014年9月22日)	8,572	35	1.8	95.2	—	20	
	59期 (2014年10月22日)	8,229	35	△3.6	95.2	—	19	
	60期 (2014年11月25日)	8,838	35	7.8	92.1	—	14	
	61期 (2014年12月22日)	8,271	35	△6.0	88.8	—	13	

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れていますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しています。

(注3) 債券先物比率は買建比率-売建比率です。

※当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

## ■ 当作成期の基準価額等の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	債 券 組 入 率	債 券 先 物 率
第56期	(期 首) 2014年6月23日	円 8,402	% —	% 95.6	% —
	6月末	8,451	0.6	96.2	—
	(期 末) 2014年7月22日	8,407	0.1	95.1	—
第57期	(期 首) 2014年7月22日	8,372	—	95.1	—
	7月末	8,438	0.8	95.4	—
	(期 末) 2014年8月22日	8,489	1.4	96.0	—
第58期	(期 首) 2014年8月22日	8,454	—	96.0	—
	8月末	8,458	0.0	96.1	—
	(期 末) 2014年9月22日	8,607	1.8	95.2	—
第59期	(期 首) 2014年9月22日	8,572	—	95.2	—
	9月末	8,447	△1.5	95.1	—
	(期 末) 2014年10月22日	8,264	△3.6	95.2	—
第60期	(期 首) 2014年10月22日	8,229	—	95.2	—
	10月末	8,516	3.5	95.6	—
	(期 末) 2014年11月25日	8,873	7.8	92.1	—
第61期	(期 首) 2014年11月25日	8,838	—	92.1	—
	11月末	8,729	△1.2	92.0	—
	(期 末) 2014年12月22日	8,306	△6.0	88.8	—

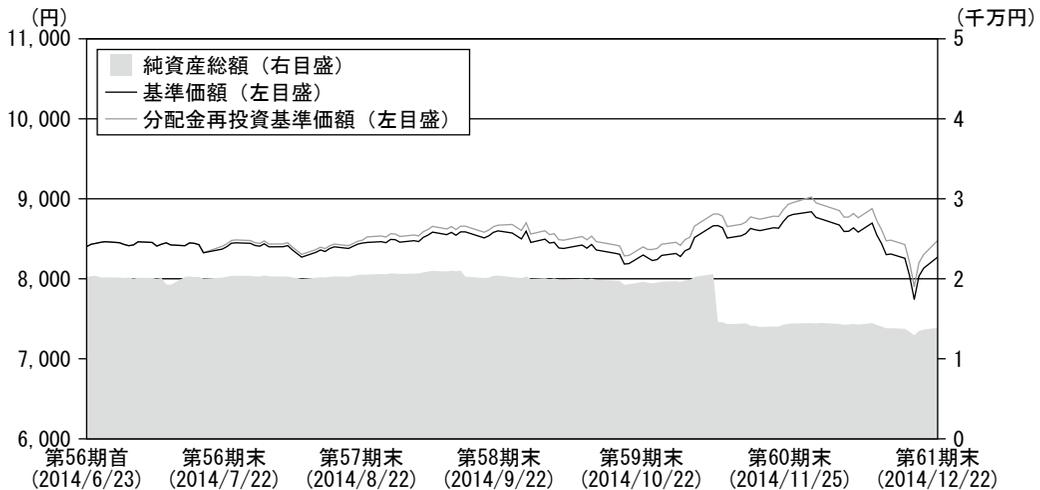
(注1) 各期末基準価額は分配金込み、騰落率は各期首比です。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れていますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しています。

(注3) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。

## ■ 運用経過

### ■ 基準価額等の推移について（作成対象期間：2014年6月24日～2014年12月22日）



当ファンドの作成対象期間中の騰落率はプラス0.9%となりました。

第56期首：8,402円  
 第61期末：8,271円（既払分配金210円（税込み））  
 騰落率：+0.9%（分配金再投資ベース）

（注）騰落率は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

※分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なるため、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

※分配金再投資基準価額は、第56期首の基準価額の値と等しくして指数化したものです。

### ■ 基準価額の主な変動要因（作成対象期間：2014年6月24日～2014年12月22日）

- トルコ・リラや南アフリカ・ランド、ナイジェリア・ナイラの投資対象通貨が円に対して上昇（円安）したことやトルコで金利が低下し債券価格が上昇したことなどが、基準価額の上昇に寄与しました。また、投資国債券のインカムゲインも基準価額の上昇に寄与しました。
- ロシア・ルーブルやブラジル・レアルの投資対象通貨が円に対して下落（円高）したことやロシアやナイジェリアで金利が上昇し債券価格が下落したことなどが、基準価額の下落に作用しました。

**投資環境について**（作成対象期間：2014年6月24日～2014年12月22日）**➤新興国債券市場の動向：**

作成対象期間の新興国債券市場では、トルコを除き、投資対象国の金利は上昇しました。

- 新興国債券市場では、ロシアは、依然として不透明なウクライナ情勢や欧米による制裁、原油安の進行などを受けて売り圧力が強まったことや同国の中央銀行による大幅な利上げなどを受けて金利が上昇しました。ナイジェリアは、産油国であることから原油安による懸念や同国の中央銀行による利上げなどを背景に金利が上昇しました。ブラジルは、大統領選挙の動向に左右されて値動きの荒い展開となり、作成対象期間を通してみると金利は上昇しました。南アフリカは、金利が低下する局面があったものの、作成対象期間を通してみると小幅に金利は上昇しました。一方、トルコは、原油の輸入国であることから、原油安によるインフレ率の改善期待などを背景に金利が低下しました。

**➤新興国為替市場の動向：**

作成対象期間の新興国為替市場では、投資対象通貨によってまちまちとなりました。

- ロシア・ルーブルは、ウクライナ情勢や原油安、欧米による制裁などを受けて円に対して大幅に下落しました。ブラジル・リアルは、大統領選挙でルセフ大統領が再選したことなどが嫌気され、対円で下落しました。一方、ナイジェリア・ナイラや南アフリカ・ランドは、米ドルが対円で堅調に推移したことなどを背景に上昇しました。トルコ・リラは、原油安の進行を背景とした経常収支の改善期待などから対円で上昇しました。

ポートフォリオについて（作成対象期間：2014年6月24日～2014年12月22日）

➤新興国高金利通貨オープン（毎月決算型）

- 当ファンドは、新興国高金利通貨オープン マザーファンド（以下「マザーファンド」ということがあります。）受益証券を主要投資対象とし、高位に組み入れました。

➤新興国高金利通貨オープン マザーファンド

- 国別資産配分  
ナイジェリア、ブラジル、トルコ、ロシア、南アフリカの現地通貨建国債をおおむね均等に組み入れたポートフォリオ構成としました。2014年9月、12月に実施した定期的な投資国通貨の見直しでは、金利の相対的な魅力度に大きな変化がなく、投資国通貨に変更を加えませんでした。
- 残存期間  
各投資国の残存期間3年以内の国債へ投資を行いました。
- 為替ヘッジ等  
外貨の組入比率を高水準に維持し、外貨建資産については対円での為替ヘッジは行いませんでした。

（2014年6月23日現在）

（2014年12月22日現在）

通貨	債券組入比率	平均残存期間(年)	平均最終利回り	平均格付
ナイジェリア・ナイラ	20.5%	0.8	11.4%	BB-
ブラジル・レアル	19.6%	0.8	10.9%	BBB+
トルコ・リラ	18.8%	0.4	8.6%	BBB
ロシア・ルーブル	19.6%	1.3	8.1%	BBB+
南アフリカ・ランド	19.8%	0.9	6.4%	BBB+
その他	1.7%	—	—	—
合計	100.0%	0.8	8.9%	BBB-

通貨	債券組入比率	平均残存期間(年)	平均最終利回り	平均格付
ロシア・ルーブル	16.3%	0.9	15.8%	BBB
ナイジェリア・ナイラ	20.4%	0.3	13.2%	BB-
ブラジル・レアル	21.7%	0.3	12.2%	BBB+
トルコ・リラ	19.1%	0.9	8.6%	BBB
南アフリカ・ランド	13.6%	1.9	6.8%	BBB+
その他	8.9%	—	—	—
合計	100.0%	0.7	10.5%	BBB-

- (注1) マザーファンドの通貨別組入比率は未収利息等を含むため、「運用報告書（全体版）組入資産の明細」の比率とは異なります。
- (注2) マザーファンドの通貨別債券組入比率、平均残存期間（年）、平均最終利回り、平均格付は、現地通貨建債券の時価残高合計で加重平均し算出しています。
- (注3) 平均格付は、Moody's社とS&P社の本国通貨建長期債務格付のうち、上位格付を基に国際投信投資顧問が計算し、S&P社の表示方法で表記しています。（出所：Bloomberg）
- (注4) 合計値が表記の各要素と異なることがあります、四捨五入による影響です。
- (注5) 平均格付とは、基準日時点で投資信託財産が保有している有価証券に係る信用格付を加重平均したものであり、ファンドおよびマザーファンドに係る信用格付ではありません。

分配金について

分配については、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して、第56期から第61期の1万口当たり分配金（税込み）はそれぞれ35円とさせていただきました。なお、分配金に充てなかった留保益については、特に制限を設けず、運用の基本方針に則した運用を行います。

## ■今後の運用方針

### ➤新興国高金利通貨オープン（毎月決算型）

- 引き続き、新興国高金利通貨オープン マザーファンドの組入比率を高位に保ち、運用を行っていく方針です。

### ➤新興国高金利通貨オープン マザーファンド

- 国別資産配分  
原則として、新興国の中から相対的に金利の高い5通貨を選定し、現地通貨建の債券に均等に投資します。投資国通貨の選定においては、各国のファンダメンタルズや市場規模、流動性等も考慮します（選定通貨の見直しは定期的に行いますが、必要と判断した場合は別のタイミングで一部の通貨を入れ替えることがあります。入れ替えの途中などでは一時的に投資国通貨が5通貨とならないこともあります。）。
- 残存期間  
残存期間が3年を超える債券には、原則として投資しないものとします。
- 為替ヘッジ等  
外貨の組入比率を高水準に維持し、外貨建資産については対円での為替ヘッジは原則として行わない方針です。

## ■ 1万口当たりの費用明細

項 目	第56期～第61期 (2014/6/24～2014/12/22)		項目の概要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	64 円	0.754 %	(a) 信託報酬＝作成対象期間の平均基準価額× 信託報酬率× $\frac{\text{作成対象期間の日数}}{\text{年間日数}}$ 作成対象期間の平均基準価額は8,506円 です。
(投 信 会 社)	(30)	(0.357)	・ 当ファンドの運用、受託会社への運用指図、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(32)	(0.375)	・ 交付運用報告書等各种書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.021)	・ 当ファンドの財産の保管および管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	9	0.103	(b) その他費用＝ $\frac{\text{作成対象期間のその他費用}}{\text{作成対象期間の平均受益権口数}}$
(保 管 費 用)	(9)	(0.102)	・ 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用等
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	・ 監査法人に支払われる当ファンドの監査費用等
合 計	73	0.857	

(注1) 作成対象期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は作成対象期間末の税率を採用しています。

(注3) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注4) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含まず。

(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成対象期間の平均基準価額（各月末の単純平均）で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

(注6) 単位未満は0と表示しています。

## ■ 当作成期の売買及び取引の状況（2014年6月24日から2014年12月22日まで）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

決 算 期	第 56 期 ～ 第 61 期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
新興国高金利通貨オープン マザーファンド	千口 2,165	千円 2,566	千口 7,734	千円 9,408

(注) 口数・金額の単位未満は切り捨てです。

## ■ 当作成期の利害関係人<sup>※</sup>との取引状況等（2014年6月24日から2014年12月22日まで）

(1) 利害関係人との取引状況

新興国高金利通貨オープン マザーファンド

決 算 期	第 56 期 ～ 第 61 期					
	区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況 B	B A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況 D
公 社 債						
為 替 直 物 取 引	812	—	—	1,408	—	—

平均保有割合 0.7%

(平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該子投資信託の親投資信託所有口数の割合です。)

(2) 売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	第 56 期 ～ 第 61 期
売 買 委 託 手 数 料 総 額 (A)	— 千円
う ち 利 害 関 係 人 へ の 支 払 額 (B)	— 千円
(B) / (A)	— %

(注) 売買委託手数料総額は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期における利害関係人との取引はありません。

## ■ 自社による当ファンドの設定・解約状況（2014年6月24日から2014年12月22日まで）

該当ありません。

## ■ 組入資産の明細

親投資信託残高

種 類	第 10 作 成 期 末		第 11 作 成 期 末	
	口 数	評 価 額	口 数	評 価 額
新興国高金利通貨オープン マザーファンド	千口 17,113	千円 13,743	千口 11,544	千円 13,743

(注) 口数・評価額の単位未満は切り捨てです。

■ 投資信託財産の構成

2014年12月22日現在

項 目	第 11 作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
新興国高金利通貨オープン マザーファンド	千円 13,743	% 98.5
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	210	1.5
投 資 信 託 財 産 総 額	13,953	100.0

(注1) 新興国高金利通貨オープン マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産(2,174,667千円)の投資信託財産総額(2,218,343千円)に対する比率は98.0%です。

(注2) 外貨建資産は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、12月22日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=119.50円、1ブラジル・レアル=44.90円、1トルコ・リラ=51.61円、1ロシア・ルーブル=2.05円、1南アフリカ・ランド=10.33円、100ナイジェリア・ナイラ=66.37円です。

(注3) 評価額の単位未満は切り捨てです。

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2014年7月22日) (2014年8月22日) (2014年9月22日) (2014年10月22日) (2014年11月25日) (2014年12月22日)現在

項 目	第 56 期 末	第 57 期 末	第 58 期 末	第 59 期 末	第 60 期 末	第 61 期 末
	円	円	円	円	円	円
(A) 資 産	20,254,744	20,644,612	20,452,627	19,564,028	14,548,289	13,953,647
コール・ローン等	223,583	228,584	225,735	216,770	163,081	143,388
新興国高金利通貨オープン マザーファンド(評価額)	19,946,906	20,329,202	20,016,427	19,253,840	14,324,049	13,743,316
未 収 入 金	84,255	86,826	210,465	93,418	61,159	66,943
(B) 負 債	108,343	111,096	233,718	115,735	80,705	74,468
未 払 収 益 分 配 金	84,226	85,014	82,557	82,722	57,296	58,728
未 払 解 約 金	—	—	124,641	8,281	—	—
未 払 信 託 報 酬	24,056	26,016	26,453	24,669	23,355	15,707
そ の 他 未 払 費 用	61	66	67	63	54	33
(C) 純資産総額(A-B)	20,146,401	20,533,516	20,218,909	19,448,293	14,467,584	13,879,179
元 本	24,064,723	24,289,821	23,587,718	23,634,909	16,370,288	16,779,519
次 期 繰 越 損 益 金	△ 3,918,322	△ 3,756,305	△ 3,368,809	△ 4,186,616	△ 1,902,704	△ 2,900,340
(D) 受 益 権 総 口 数	24,064,723口	24,289,821口	23,587,718口	23,634,909口	16,370,288口	16,779,519口
1万口当たり基準価額(C/D)	8,372円	8,454円	8,572円	8,229円	8,838円	8,271円

(注1) 当ファンドの第56期首元本額は24,078,192円、第56期～第61期中追加設定元本額は3,191,241円、第56期～第61期中一部解約元本額は10,489,914円です。

(注2) 1口当たり純資産額は、第56期末0.8372円、第57期末0.8454円、第58期末0.8572円、第59期末0.8229円、第60期末0.8838円、第61期末0.8271円です。

(注3) 純資産総額が元本額を下回っており、その差額は第56期末3,918,322円、第57期末3,756,305円、第58期末3,368,809円、第59期末4,186,616円、第60期末1,902,704円、第61期末2,900,340円です。

※本運用報告書作成時点において、本計算期間に係るファンドの監査は終了していません。

■ 損益の状況

第56期（自2014年6月24日 至2014年7月22日） 第59期（自2014年9月23日 至2014年10月22日）  
 第57期（自2014年7月23日 至2014年8月22日） 第60期（自2014年10月23日 至2014年11月25日）  
 第58期（自2014年8月23日 至2014年9月22日） 第61期（自2014年11月26日 至2014年12月22日）

項 目	第 56 期	第 57 期	第 58 期	第 59 期	第 60 期	第 61 期
	円	円	円	円	円	円
(A)配当等収益	2	1	1	—	19	—
受取利息	2	1	1	—	19	—
(B)有価証券売買損益	29,041	308,942	384,876	△ 697,770	1,066,587	△ 860,386
売 買 益	38,686	313,339	401,876	6,306	1,372,362	10
売 買 損	△ 9,645	△ 4,397	△ 17,000	△ 704,076	△ 305,775	△ 860,396
(C)信託報酬等	△ 24,117	△ 26,082	△ 26,520	△ 24,732	△ 23,409	△ 15,740
(D)当期損益金(A+B+C)	4,926	282,861	358,357	△ 722,502	1,043,197	△ 876,126
(E)前期繰越損益金	△1,369,235	△1,440,904	△1,189,451	△ 903,699	△1,159,486	△ 173,571
(F)追加信託差損益金	△2,469,787	△2,513,248	△2,455,158	△2,477,693	△1,729,119	△1,791,915
(配当等相当額)	( 403,158)	( 435,630)	( 435,748)	( 448,409)	( 315,644)	( 339,622)
(売買損益相当額)	(△2,872,945)	(△2,948,878)	(△2,890,906)	(△2,926,102)	(△2,044,763)	(△2,131,537)
(G)計 (D+E+F)	△3,834,096	△3,671,291	△3,286,252	△4,103,894	△1,845,408	△2,841,612
(H)収益分配金	△ 84,226	△ 85,014	△ 82,557	△ 82,722	△ 57,296	△ 58,728
次期繰越損益金(G+H)	△3,918,322	△3,756,305	△3,368,809	△4,186,616	△1,902,704	△2,900,340
追加信託差損益金	△2,469,787	△2,513,248	△2,455,158	△2,482,420	△1,729,119	△1,796,949
(配当等相当額)	( 418,706)	( 436,452)	( 436,656)	( 444,489)	( 316,328)	( 335,354)
(売買損益相当額)	(△2,888,493)	(△2,949,700)	(△2,891,814)	(△2,926,909)	(△2,045,447)	(△2,132,303)
分配準備積立金	897,386	901,788	873,335	858,201	613,891	603,941
繰越損益金	△2,345,921	△2,144,845	△1,786,986	△2,562,397	△ 787,476	△1,707,332

(注1) 損益の状況の中で

- ・ (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。
- ・ (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
- ・ (F) 追加信託差損益金とは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注2) 新興国高金利通貨オープン マザーファンドの当ファンド分の運用指図に関する権限の一部を委託するために要する費用（2014年6月24日から2014年12月22日まで）は、27,418円です。

(注3) 分配金の計算過程

項 目	第 56 期 末	第 57 期 末	第 58 期 末	第 59 期 末	第 60 期 末	第 61 期 末
(a) 配当等収益(費用控除後)	248,478円	93,848円	90,822円	71,595円	78,974円	43,785円
(b) 有価証券等損益額(費用控除後)	0	0	0	0	0	0
(c) 信託約款に規定する収益調整金	418,706	436,452	436,656	449,216	316,328	340,388
(d) 信託約款に規定する分配準備積立金	733,134	892,954	865,070	864,601	592,213	613,850
(e) 分配対象収益(a+b+c+d)	1,400,318	1,423,254	1,392,548	1,385,412	987,515	998,023
(f) 分配金額	84,226	85,014	82,557	82,722	57,296	58,728
(g) 分配金額(1万口当たり)	35	35	35	35	35	35

## ■ 分配金のお知らせ

決 算 期	第56期	第57期	第58期	第59期	第60期	第61期
1万口当たり分配金(税引前)	35円	35円	35円	35円	35円	35円
分配金落ち後基準価額	8,372円	8,454円	8,572円	8,229円	8,838円	8,271円

## 分配原資の内訳

(1万口当たり・税込み)

	第56期 2014年6月24日～ 2014年7月22日	第57期 2014年7月23日～ 2014年8月22日	第58期 2014年8月23日～ 2014年9月22日	第59期 2014年9月23日～ 2014年10月22日	第60期 2014年10月23日～ 2014年11月25日	第61期 2014年11月26日～ 2014年12月22日
当期分配金	35円	35円	35円	35円	35円	35円
（対基準価額比率）	0.416%	0.412%	0.407%	0.424%	0.394%	0.421%
当期の収益	35円	35円	35円	30円	35円	26円
当期の収益以外	－円	－円	－円	5円	－円	9円
翌期繰越分配対象額	546円	550円	555円	551円	568円	559円

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損金補てん後の有価証券売買等損益（評価益を含む）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## ■ お知らせ

投資信託及び投資法人に関する法律等の改正に伴い、2014年12月1日以降に作成期日（作成基準日となるファンドの決算日）を迎える運用報告書については、運用報告書に記載すべき事項のうち重要な事項を記載した「交付運用報告書」と「運用報告書（全体版）」（本報告書）に二段階化されることになりました。

「運用報告書（全体版）」は弊社のホームページでご覧いただけますが、ご請求いただいた場合には交付いたします。詳しくは、販売会社までお問い合わせください。

## ■ 約款変更について（作成対象期間：2014年6月24日～2014年12月22日）

### 新興国高金利通貨オープン（毎月決算型）

- 「運用報告書（全体版）」について電磁的方法により提供するための、所要の約款変更を2014年12月1日に行いました。
- 投資信託の併合及び約款変更並びに投資信託契約の解約に関する書面決議に係る受益者数要件を廃止するための、所要の約款変更を2014年12月1日に行いました。
- 受益者の利益に及ぼす影響が軽微な投資信託の併合に関する書面決議を不要とするための、所要の約款変更を2014年12月1日に行いました。
- 反対受益者の受益権買取請求の規定を適用除外とするための、所要の約款変更を2014年12月1日に行いました。
- デリバティブ取引等に係る投資制限を規定するための、所要の約款変更を2014年12月1日に行いました。

### 新興国高金利通貨オープン マザーファンド

- 投資信託の併合及び約款変更並びに投資信託契約の解約に関する書面決議に係る受益者数要件を廃止するための、所要の約款変更を2014年12月1日に行いました。
- 受益者の利益に及ぼす影響が軽微な投資信託の併合に関する書面決議を不要とするための、所要の約款変更を2014年12月1日に行いました。
- 反対受益者の受益権買取請求の規定を適用除外とするための、所要の約款変更を2014年12月1日に行いました。
- デリバティブ取引等に係る投資制限を規定するための、所要の約款変更を2014年12月1日に行いました。

# 新興国高金利通貨オープン マザーファンド

## 運用報告書（全体版）

第78期（決算日 2014年7月22日） 第81期（決算日 2014年10月22日）  
第79期（決算日 2014年8月22日） 第82期（決算日 2014年11月25日）  
第80期（決算日 2014年9月22日） 第83期（決算日 2014年12月22日）

（計算期間：2014年6月24日～2014年12月22日）

●当マザーファンドの仕組みは次の通りです。

運 用 方 針	新興国のソブリン債券および準ソブリン債券を中心に投資を行い、安定したインカムゲインの確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。
主 要 投 資 対 象	新興国のソブリン債券および準ソブリン債券
主 な 投 資 制 限	<ul style="list-style-type: none"><li>・外貨建資産への投資割合は、制限を設けません。</li><li>・ソブリン債券以外への投資は、取得時において、信託財産の純資産総額の35%以内とします。</li><li>・同一企業が発行する債券への投資は、取得時において、信託財産の純資産総額の10%以内とします。</li></ul>

## 国際投信投資顧問

〒100-0005 東京都千代田区丸の内三丁目1番1号  
URL <http://www.kokusai-am.co.jp>

## ■ 最近5作成期の運用実績

	決 算 期	基 準 価 額	期 騰 落 中 率		債 券 組 入 率 比	債 券 先 物 率 比	純 資 産 額
			期 騰 落	中 率			
第10作成期	54期 (2012年7月23日)	円 8,637	% △1.2	% 97.7	% —	百万円 3,406	
	55期 (2012年8月22日)	9,002	4.2	96.9	—	3,436	
	56期 (2012年9月24日)	8,978	△0.3	96.4	—	3,333	
	57期 (2012年10月22日)	9,113	1.5	95.7	—	3,278	
	58期 (2012年11月22日)	9,328	2.4	95.9	—	3,266	
	59期 (2012年12月25日)	9,776	4.8	96.0	—	3,286	
第11作成期	60期 (2013年1月22日)	10,449	6.9	96.8	—	3,437	
	61期 (2013年2月22日)	10,946	4.8	97.3	—	3,459	
	62期 (2013年3月22日)	10,858	△0.8	96.5	—	3,392	
	63期 (2013年4月22日)	11,618	7.0	96.8	—	3,527	
	64期 (2013年5月22日)	11,885	2.3	96.3	—	3,481	
	65期 (2013年6月24日)	10,783	△9.3	97.0	—	3,162	
第12作成期	66期 (2013年7月22日)	11,195	3.8	97.0	—	3,194	
	67期 (2013年8月22日)	10,588	△5.4	96.5	—	3,003	
	68期 (2013年9月24日)	11,249	6.2	96.6	—	3,120	
	69期 (2013年10月22日)	11,250	0.0	96.8	—	3,070	
	70期 (2013年11月22日)	11,363	1.0	97.4	—	3,030	
	71期 (2013年12月24日)	11,612	2.2	95.9	—	2,973	
第13作成期	72期 (2014年1月22日)	11,327	△2.5	95.2	—	2,893	
	73期 (2014年2月24日)	11,080	△2.2	94.9	—	2,823	
	74期 (2014年3月24日)	11,003	△0.7	94.5	—	2,772	
	75期 (2014年4月22日)	11,516	4.7	97.6	—	2,800	
	76期 (2014年5月22日)	11,675	1.4	97.0	—	2,768	
	77期 (2014年6月23日)	11,704	0.2	96.6	—	2,725	
第14作成期	78期 (2014年7月22日)	11,725	0.2	96.0	—	2,668	
	79期 (2014年8月22日)	11,906	1.5	97.0	—	2,669	
	80期 (2014年9月22日)	12,140	2.0	96.2	—	2,685	
	81期 (2014年10月22日)	11,714	△3.5	96.2	—	2,534	
	82期 (2014年11月25日)	12,659	8.1	93.0	—	2,327	
	83期 (2014年12月22日)	11,905	△6.0	89.7	—	2,186	

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。

※当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

## ■ 当作成期の基準価額等の推移

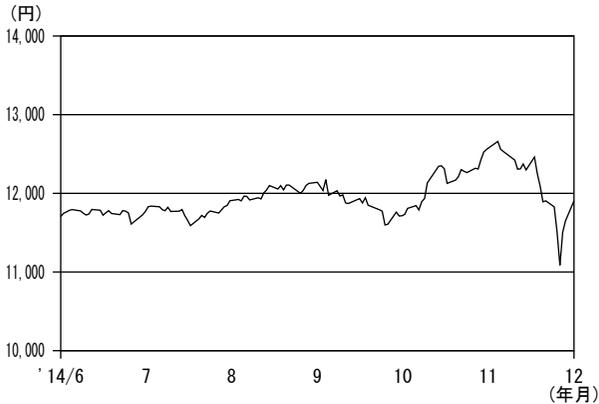
決算期	年 月 日	基 準	価 額	債 券 組 入 率	債 券 先 物 率
			騰 落 率		
第78期	(期 首) 2014年6月23日	円	%	%	%
	6月末	11,704	—	96.6	—
	2014年7月22日	11,776	0.6	97.2	—
第79期	(期 末) 2014年7月22日	11,725	0.2	96.0	—
	(期 首) 2014年7月22日	11,725	—	96.0	—
	7月末	11,823	0.8	96.3	—
第80期	(期 末) 2014年8月22日	11,906	1.5	97.0	—
	(期 首) 2014年8月22日	11,906	—	97.0	—
	8月末	11,916	0.1	97.0	—
第81期	(期 末) 2014年9月22日	12,140	2.0	96.2	—
	(期 首) 2014年9月22日	12,140	—	96.2	—
	9月末	11,965	△1.4	96.1	—
第82期	(期 末) 2014年10月22日	11,714	△3.5	96.2	—
	(期 首) 2014年10月22日	11,714	—	96.2	—
	10月末	12,132	3.6	96.5	—
第83期	(期 末) 2014年11月25日	12,659	8.1	93.0	—
	(期 首) 2014年11月25日	12,659	—	93.0	—
	11月末	12,503	△1.2	93.0	—
	(期 末) 2014年12月22日	11,905	△6.0	89.7	—

(注1) 騰落率は各期首比です。

(注2) 債券先物比率は、買建比率－売建比率です。

## ■ 運用経過

### ■ 基準価額の推移について (作成対象期間：2014年6月24日～2014年12月22日)



当マザーファンドの作成対象期間中の騰落率は、プラス1.7%となりました。

### ■ 基準価額の主な変動要因 (作成対象期間：2014年6月24日～2014年12月22日)

- トルコ・リラや南アフリカ・ランド、ナイジェリア・ナイラの投資対象通貨が円に対して上昇（円安）したことやトルコで金利が低下し債券価格が上昇したことなどが、基準価額の上昇に寄与しました。また、投資国債券のインカムゲインも基準価額の上昇に寄与しました。
- ロシア・ルーブルやブラジル・レアルの投資対象通貨が円に対して下落（円高）したことやロシアやナイジェリアで金利が上昇し債券価格が下落したことなどが、基準価額の下落に作用しました。

**投資環境について**（作成対象期間：2014年6月24日～2014年12月22日）**➤新興国債券市場の動向：**

**作成対象期間の新興国債券市場では、トルコを除き、投資対象国の金利は上昇しました。**

- 新興国債券市場では、ロシアは、依然として不透明なウクライナ情勢や欧米による制裁、原油安の進行などを受けて売り圧力が強まったことや同国の中央銀行による大幅な利上げなどを受けて金利が上昇しました。ナイジェリアは、産油国であることから原油安による懸念や同国の中央銀行による利上げなどを背景に金利が上昇しました。ブラジルは、大統領選挙の動向に左右されて値動きの荒い展開となり、作成対象期間を通してみると金利は上昇しました。南アフリカは、金利が低下する局面があったものの、作成対象期間を通してみると小幅に金利は上昇しました。一方、トルコは、原油の輸入国であることから、原油安によるインフレ率の改善期待などを背景に金利が低下しました。

**➤新興国為替市場の動向：**

**作成対象期間の新興国為替市場では、投資対象通貨によってまちまちとなりました。**

- ロシア・ルーブルは、ウクライナ情勢や原油安、欧米による制裁などを受けて円に対して大幅に下落しました。ブラジル・レアルは、大統領選挙でルセフ大統領が再選したことなどが嫌気され、対円で下落しました。一方、ナイジェリア・ナイラや南アフリカ・ランドは、米ドルが対円で堅調に推移したことなどを背景に上昇しました。トルコ・リラは、原油安の進行を背景とした経常収支の改善期待などから対円で上昇しました。

ポートフォリオについて (作成対象期間：2014年6月24日～2014年12月22日)

- 国別配分については、第78期首は、ナイジェリア、ブラジル、トルコ、ロシア、南アフリカの現地通貨建国債をおおむね均等に組み入れたポートフォリオ構成としました。2014年9月、12月に実施した定期的な投資国通貨の見直しでは、金利の相対的な魅力度に大きな変化がなく、投資国通貨に変更を加えませんでした。残存期間については、各投資国の残存期間3年以内の国債へ投資を行いました。外貨の組入比率を高水準に維持し、外貨建資産については対円での為替ヘッジは行いませんでした。

通貨	債券組入比率	平均残存期間(年)	平均最終利回り	平均格付
ナイジェリア・ナイラ	20.5%	0.8	11.4%	BB-
ブラジル・レアル	19.6%	0.8	10.9%	BBB+
トルコ・リラ	18.8%	0.4	8.6%	BBB
ロシア・ルーブル	19.6%	1.3	8.1%	BBB+
南アフリカ・ランド	19.8%	0.9	6.4%	BBB+
その他	1.7%	-	-	-
合計	100.0%	0.8	8.9%	BBB-

通貨	債券組入比率	平均残存期間(年)	平均最終利回り	平均格付
ロシア・ルーブル	16.3%	0.9	15.8%	BBB
ナイジェリア・ナイラ	20.4%	0.3	13.2%	BB-
ブラジル・レアル	21.7%	0.3	12.2%	BBB+
トルコ・リラ	19.1%	0.9	8.6%	BBB
南アフリカ・ランド	13.6%	1.9	6.8%	BBB+
その他	8.9%	-	-	-
合計	100.0%	0.7	10.5%	BBB-

- (注1) マザーファンドの通貨別組入比率は未収利息等を含むため、「運用報告書(全体版) 組入資産の明細」の比率とは異なります。
- (注2) マザーファンドの通貨別債券組入比率、平均残存期間(年)、平均最終利回り、平均格付は、現地通貨建債券の時価残高合計で加重平均し算出しています。
- (注3) 平均格付は、Moody's社とS&P社の自国通貨建長期債務格付のうち、上位格付を基に国際投信投資顧問が計算し、S&P社の表示方法で表記しています。(出所：Bloomberg)
- (注4) 合計値が表記の各要素と異なることがありますが、四捨五入による影響です。
- (注5) 平均格付とは、基準日時点で投資信託財産が保有している有価証券に係る信用格付を加重平均したものであり、ファンドおよびマザーファンドに係る信用格付ではありません。

今後の運用方針

- 国別資産配分  
原則として、新興国の中から相対的に金利の高い5通貨を選定し、現地通貨建の債券に均等に投資します。投資国通貨の選定においては、各国のファンダメンタルズや市場規模、流動性等も考慮します(選定通貨の見直しは定期的に行いますが、必要と判断した場合は別のタイミングで一部の通貨を入れ替えることがあります。入れ替えの途中などでは一時的に投資国通貨が5通貨とまらないこともあります。)
- 残存期間  
残存期間が3年を超える債券には、原則として投資しないものとします。
- 為替ヘッジ等  
外貨の組入比率を高水準に維持し、外貨建資産については対円での為替ヘッジは原則として行わない方針です。

■ 1万口（元本10,000円）当たりの費用の明細

項 目	第78期～第83期 (2014/6/24～2014/12/22)		項目の概要
	金 額	比 率	
(a) その他費用	12円	0.103%	(a) その他費用 = $\frac{\text{期間中のその他費用}}{\text{期間中の平均受益権口数}}$ ・有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用等
(保管費用)	(12)	(0.103)	
合 計	12	0.103	

※マザーファンドの期間中の平均基準価額は12,019円です。

(注1) 期間中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期間中の平均基準価額（各月末の単純平均）で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

■ 当作成期の売買及び取引の状況（2014年6月24日から2014年12月22日まで）

公社債

決 算 期				第 78 期 ～ 第 83 期			
				買 付 額	売 付 額		
外	ブ	ラ	ジ	千ブラジル・リアル	千ブラジル・リアル		
			ル				
		国	債	証	券	248	1,389
	ト	ル	コ	千トルコ・リラ	千トルコ・リラ		
		国	債	証	券	7,841	2,547 ( 8,050)
	ロ	シ	ア	千ロシア・ルーブル	千ロシア・ルーブル		
		国	債	証	券	26,583	24,494
	南	ア	フ	リ	千南アフリカ・ランド	千南アフリカ・ランド	
							カ
		国	債	証	券	10,796	13,469 ( 22,596)
ナ	イ	ジ	エ	千ナイジェリア・ナイラ	千ナイジェリア・ナイラ		
						リ	
	国	債	証	券	—	239,823	

(注1) 金額は受渡代金です。（経過利子は含まれていません。）

(注2) 金額の単位未満は切り捨てです。

(注3) ( ) 内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれていません。

■ 当作成期の主要な売買銘柄 (2014年6月24日から2014年12月22日まで)

公社債

第 78 期			第 83 期		
買 付		金 額	売 付		金 額
銘	柄		銘	柄	
TURKEY GOVT BOND 10.7% 16/2/24(トルコ)		千円 299,406	NIGERIA T-BOND 4% 15/4/23(ナイジェリア)		千円 159,391
SOUTH AFRICA GOVT 8.25% 17/9/15(南アフリカ)		106,751	SOUTH AFRICA GOVT 8.75% 14/12/21(南アフリカ)		94,692
TURKEY GOVT BOND 10% 15/6/17(トルコ)		77,387	TURKEY GOVT BOND 10% 15/6/17(トルコ)		66,791
RUSSIA-OFZ 6.88% 15/7/15(ロシア)		35,964	RUSSIA-OFZ 6.88% 15/7/15(ロシア)		65,228
RUSSIA-OFZ 6.9% 16/8/3(ロシア)		18,532	BRAZIL NTN-F 10% 15/1/1(ブラジル)		64,376
BRAZIL NTN-F 10% 17/1/1(ブラジル)		11,168	TURKEY GOVT BOND 10.7% 16/2/24(トルコ)		61,359
—		—	SOUTH AFRICA GOVT 13.5% 15/9/15(南アフリカ)		47,598
—		—	TURKEY GOVT BOND 7.5% 14/9/24(トルコ)		5,986

(注1) 金額は受渡代金です。(経過利子は含まれていません。)

(注2) 国内の現先取引によるものは含まれていません。

(注3) 金額の単位未満は切り捨てです。

■ 当作成期の利害関係人<sup>\*</sup>との取引状況等 (2014年6月24日から2014年12月22日まで)

(1) 利害関係人との取引状況

決 算 期	第 78 期 ~ 第 83 期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況 B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況 D	$\frac{D}{C}$
公 社 債	百万円 549	百万円 —	% —	百万円 565	百万円 —	% —
為 替 直 物 取 引	812	—	—	1,408	—	—

(2) 売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	第 78 期 ~ 第 83 期
売 買 委 託 手 数 料 総 額 (A)	—千円
う ち 利 害 関 係 人 へ の 支 払 額 (B)	—千円
(B) / (A)	—%

<sup>\*</sup>利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期における利害関係人との取引はありません。

## ■ 組入資産の明細

### (1) 外国（外貨建）公社債

区 分	額 面 金 額	第 14 作 成 期 末		組入比率	うちBB格 以下組入比率	残存期間別組入比率		
		評 価 額				5年以上	2年以上	2年未満
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額					
ブラジル	千ブラジル・レアル 10,275	千ブラジル・レアル 10,564	千円 474,358	% 21.7	% —	% —	% 2.8	% 18.9
トルコ	千トルコ・リラ 7,795	千トルコ・リラ 7,931	409,359	18.7	—	—	—	18.7
ロシア	千ロシア・ルーブル 180,485	千ロシア・ルーブル 168,583	345,595	15.8	—	—	—	15.8
南アフリカ	千南アフリカ・ランド 26,243	千南アフリカ・ランド 27,948	288,705	13.2	—	—	5.1	8.1
ナイジェリア	千ナイジェリア・ナイラ 686,925	千ナイジェリア・ナイラ 666,385	442,280	20.2	20.2	—	—	20.2
合 計	—	—	1,960,299	89.7	20.2	—	7.9	81.8

(注1) 邦貨換算金額は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 額面金額・評価額の単位未満は切り捨てです。

(注4) ー印は組み入れがありません。

(注5) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注6) BB格以下組入比率の計算においては、Moody'sとS&Pの格付けのうち高いものを採用しています。

(2) 外国（外貨建）公社債銘柄別

作成期 区分	第 14 作 成 期 末 種 類	銘 柄	利 率	額 面 金 額	評 価 額		償 還 年 月 日
					外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
					千円		
ブラジル	国債証券	BRAZIL NTN-F	10.0	8,232	8,606	386,432	2015/1/1
		BRAZIL NTN-F	10.0	1,356	1,351	60,695	2017/1/1
		BRAZIL-LTN	—	687	606	27,230	2016/1/1
小 計			—	—	—	474,358	
トルコ	国債証券	TURKEY GOVT BOND	10.0	2,820	2,834	146,283	2015/6/17
		TURKEY GOVT BOND	10.7	4,975	5,097	263,076	2016/2/24
小 計			—	—	—	409,359	
ロシア	国債証券	RUSSIA-OFZ	6.88	104,490	100,076	205,156	2015/7/15
		RUSSIA-OFZ	7.35	37,795	34,857	71,458	2016/1/20
		RUSSIA-OFZ	6.9	38,200	33,649	68,980	2016/8/3
小 計			—	—	—	345,595	
南アフリカ	国債証券	SOUTH AFRICA GOVT	13.5	5,796	6,076	62,775	2015/9/15
		SOUTH AFRICA GOVT	13.5	9,996	11,082	114,484	2016/9/15
		SOUTH AFRICA GOVT	8.25	10,450	10,788	111,446	2017/9/15
小 計			—	—	—	288,705	
ナイジェリア	国債証券	NIGERIA T-BOND	4.0	686,925	666,385	442,280	2015/4/23
合 計			—	—	—	1,960,299	

(注1) 邦貨換算金額は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額・評価額の単位未満は切り捨てです。

(注3) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

■ 投資信託財産の構成

2014年12月22日現在

項 目	第 14 作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	千円 1,960,299	% 88.4
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	258,044	11.6
投 資 信 託 財 産 総 額	2,218,343	100.0

(注1) 当作成期末における外貨建純資産 (2,174,667千円) の投資信託財産総額 (2,218,343千円) に対する比率は98.0%です。

(注2) 外貨建資産は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、12月22日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=119.50円、1ブラジル・レアル=44.90円、1トルコ・リラ=51.61円、1ロシア・ルーブル=2.05円、1南アフリカ・ランド=10.33円、100ナイジェリア・ナイラ=66.37円です。

(注3) 評価額の単位未満は切り捨てです。

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2014年7月22日) (2014年8月22日) (2014年9月22日) (2014年10月22日) (2014年11月25日) (2014年12月22日)現在

項 目	第 7 期 末	第 7 期 末	第 8 期 末	第 8 期 末	第 8 期 末	第 8 期 末
	円	円	円	円	円	円
(A) 資 産	2,670,633,609	2,673,314,196	2,788,247,612	2,549,070,337	2,331,384,247	2,218,461,170
コール・ローン等	69,505,226	38,451,259	167,821,515	59,451,292	74,689,603	91,042,177
公社債(評価額)	2,563,001,161	2,589,856,728	2,581,964,244	2,437,606,536	2,165,376,378	1,960,299,372
未 収 入 金	—	85,248	208,471	12,500,075	54,495,879	130,276,029
未 収 利 息	36,171,218	44,825,692	38,253,382	34,591,068	31,884,947	32,582,875
前 払 費 用	1,956,004	95,269	—	4,921,366	4,937,440	4,260,717
(B) 負 債	1,687,575	3,600,852	103,177,910	14,176,020	3,640,014	32,423,924
未 払 金	—	85,383	96,153,946	82,036	65,159	117,959
未 払 解 約 金	1,687,575	3,515,469	7,023,964	14,093,984	3,574,855	32,305,965
(C) 純資産総額(A-B)	2,668,946,034	2,669,713,344	2,685,069,702	2,534,894,317	2,327,744,233	2,186,037,246
元 本	2,276,232,069	2,242,391,864	2,211,814,059	2,163,923,281	1,838,778,857	1,836,244,588
次期繰越損益金	392,713,965	427,321,480	473,255,643	370,971,036	488,965,376	349,792,658
(D) 受益権総口数	2,276,232,069口	2,242,391,864口	2,211,814,059口	2,163,923,281口	1,838,778,857口	1,836,244,588口
1口当たり基準価額(C/D)	11,725円	11,906円	12,140円	11,714円	12,659円	11,905円

(注1) 当マザーファンドの第78期首元本額は2,328,986,431円、第78期～第83期中追加設定元本額は249,900,814円、第78期～第83期中一部解約元本額は742,642,657円です。

(注2) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期中期末元本額は、グローバル高金利通貨オープン(毎月決算型)1,804,250,911円、グローバル高金利通貨オープン(1年決算型)20,449,522円、新興国高金利通貨オープン(毎月決算型)11,544,155円、合計1,836,244,588円です。

(注3) 1口当たり純資産額は、第78期末1.1725円、第79期末1.1906円、第80期末1.2140円、第81期末1.1714円、第82期末1.2659円、第83期末1.1905円です。

■ 損益の状況

第78期(自2014年6月24日 至2014年7月22日) 第81期(自2014年9月23日 至2014年10月22日)  
 第79期(自2014年7月23日 至2014年8月22日) 第82期(自2014年10月23日 至2014年11月25日)  
 第80期(自2014年8月23日 至2014年9月22日) 第83期(自2014年11月26日 至2014年12月22日)

項 目	第 7 8 期	第 7 9 期	第 8 0 期	第 8 1 期	第 8 2 期	第 8 3 期
	円	円	円	円	円	円
(A) 配 当 等 収 益	36,509,229	13,502,304	13,263,472	12,648,953	15,286,996	9,418,425
受 取 利 息	36,509,229	13,502,304	13,263,472	12,648,953	15,286,996	9,418,425
(B) 有価証券売買損益	△ 30,961,524	27,513,952	39,251,712	△105,741,213	178,388,081	△146,960,641
売 買 損	10,766,468	32,824,179	50,784,366	7,533,028	185,720,289	7,306,430
売 買 益	△ 41,727,992	△ 5,310,227	△ 11,532,654	△113,274,241	△ 7,332,208	△154,267,071
(C) 信 託 報 酬 等	△ 426,583	△ 462,205	△ 459,029	△ 443,610	△ 461,101	△ 493,073
(D) 当期損益金(A+B+C)	5,121,122	40,554,051	52,056,155	△ 93,535,870	193,213,976	△138,035,289
(E) 前期繰越損益金	396,969,147	392,713,965	427,321,480	473,255,643	370,971,036	488,965,376
(F) 追加信託差損益金	5,118,852	5,427,733	8,151,122	7,178,117	12,395,908	8,773,529
(G) 解約差損益金	△ 14,495,156	△ 11,374,269	△ 14,273,114	△ 15,926,854	△ 87,615,544	△ 9,910,958
(H) 計(D+E+F+G)	392,713,965	427,321,480	473,255,643	370,971,036	488,965,376	349,792,658
次期繰越損益金(H)	392,713,965	427,321,480	473,255,643	370,971,036	488,965,376	349,792,658

(注) 損益の状況の中で

- ・ (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。
- ・ (C) 信託報酬等は外貨建資産の保管費用等のことです。
- ・ (F) 追加信託差損益金とは、追加設定をした金額のうち追加元本との差額を処理する項目です。
- ・ (G) 解約差損益金とは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。